

U12/U15
マンツーマン推進における
テクニカルファウル対応変更について

2019/3

マンツーマン推進プロジェクト

1. インテグリティ委員会の経緯

- ・ 2018年12月25日 インテグリティ委員会設立(委員長:宇田川貴生) をJBA理事会で承認
- ・ 2019年1月28日 第1回インテグリティ委員会開催

2. 第1回インテグリティ委員会における決定内容

- ・ JBA含め全ての団体における共通スローガン(主題)として 【クリーンバスケット、クリーンゲーム】 を決定した。
- ・ JBAとしては副題として喫緊の課題である 【暴力暴言根絶】 とした。
- ・ 委員会としてスローガンを実現していくために以下を決定した。
 - 1) バナーを作成して大会においてメッセージを発信し、啓発活動を実施(2019年3月ジュニアオールスター、全国ミニ、4月より全国にて)
 - 2) コーチが全ての選手に対する暴力的行為及び暴言は競技規則に則り テクニカルファウル(C)として取り扱うことを確認した。
 - ※ 今までテクニカルファウルの運用としてコーチが選手に対する暴言等をテクニカルファウルの対象として取り扱っていなかった。
 - ※ 暴力行為に対しては、ディスクォリファイングファウルとして失格退場である。
 - 3) 競技規則によりテクニカルファウル(C) 2個で失格退場となるが、規律案件(次の試合出場停止等)とはせず当該試合のみの対応とする。
 - ※ 競技規則によるコーチの失格退場
 - a) ディスクォリファイングファウル 1個
 - b) テクニカルファウル(C) 2個
 - c) テクニカルファウル(B) 3個
 - d) テクニカルファウル(C) 1個+テクニカルファウル(B) 2個
 - 4) テクニカルファウルの対象となる暴力的行為及び暴言に関する事例集(ガイドライン)は、指導者養成・ユース育成部会で原案作成し、インテグリティ委員会で承認するものとする。

1. テクニカルファウルの扱い

1) 試合中、コーチが全ての選手に対する暴力的行為及び暴言に対しては、コーチのテクニカルファウル(C)とする。

2) コーチのテクニカルファウル(C) 2個で失格退場とする。

※ U12ではこれまでテクニカルファウルによる失格退場はなかった。

2. マンツーマン推進のテクニカルファウル

1) マンツーマン推進における「赤旗対応によるテクニカルファウル」については「マンツーマンペナルティ(M)」とする。

※ 競技規則に準じたテクニカルファウルと区別するため（マンツーマンペナルティは国内独自ルールである）

1. マンツーマンペナルティの場合、スコアシートコーチ欄に(M)と記述する

2. マンツーマンペナルティ(M)は、U12においては3個で失格退場とする。

3. 失格退場に対しては規律案件としない。

4. マンツーマンペナルティ(M)とテクニカルファウル(C・B)との合算による失格退場は設定しない。

■コーチ失格退場のケースにおけるU12での対応 ※1

コーチライセンス資格を持つコーチが失格退場となった場合の試合継続の可否については競技規則に則り没収試合の扱いとしない。

※ 競技規則ではコーチが失格退場の場合、キャプテンが代行することになっている。

1. ベンチにヘッドコーチの他にアシスタントコーチをおく。 ※2
2. アシスタントコーチがいない場合はチーム代表者や保護者代表をベンチ登録すること。

※1 大会要項に記載しておくことが望ましい。

※2 複数の指導者がコーチライセンス資格を持っていることが望ましい。

1. テクニカルファウルの扱い

- 1) 試合中、コーチが全ての選手に対する暴力的行為及び暴言に対しては、コーチのテクニカルファウル(C)とする。
- 2) コーチのテクニカルファウル(C) 2個で失格退場とする。

2. マンツーマン推進のテクニカルファウル

- 1) マンツーマン推進における「赤旗対応によるテクニカルファウル」については「マンツーマンペナルティ(M)」とする。

※ 競技規則に準じたテクニカルファウルと区別するため（マンツーマンペナルティは国内独自ルールである）

1. マンツーマンペナルティの場合、スコアシートコーチ欄に(M)と記述する
2. マンツーマンペナルティ(M)はU15においては2個で失格退場とする。
3. 失格退場に対しては規律案件としない。
4. マンツーマンペナルティ(M)とテクニカルファウル(C・B)との合算による失格退場は設定しない。

■コーチ失格退場のケースにおけるU15での対応 ※1

コーチライセンス資格を持つコーチが失格退場となった場合の試合継続の可否については競技規則に則り没収試合の扱いとしない。

※ 競技規則ではコーチが失格退場の場合、キャプテンが代行することになっている。

1. ベンチにヘッドコーチの他にアシスタントコーチをおく。 ※2
2. アシスタントコーチがいない場合はチーム代表者等をベンチ登録すること。
3. コーチの失格退場によりベンチに指導者/代表者が不在となった場合、会場主任/コート主任等がベンチに入ることも可とする。 ※3

※1 上記項目を大会要項に記載しておくことが望ましい。

※2 複数の指導者がコーチライセンス資格を持っていることが望ましい。

※3 選手に試合の責任を負わせることは負担が大きいとの配慮からの処置である。大会において取り入れの可否を主催者が取り決めすることで構わない。